



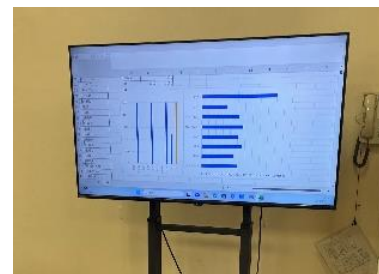
## 「ICT 教材の開発と授業力向上のための研修」

研究部主任 長谷川 伸茂

高等学校では令和4年度から年次進行でスマートスクール端末の整備が進められていて、本校でも2年生まではスマートスクール端末（iPad）を持っています。そして来年度からは全学年の生徒が一人1台の端末を持つこととなります。このような流れの中、我々教員には ICT についての理解を深めていくことが求められています。

本校では今年度 ICT 機器を活用した授業展開の検証と改善をテーマに校内研修を行っています。具体的には月に1回行われる研修会でそれぞれの教員が授業で使用した ICT 機器や ICT 教材を紹介し合い、ICT 機器を活用した授業の検証を行っています。夏季休業中に行った研修では外部から ICT 教育の専門家を講師に招き ICT 教材の利活用について講義・演習をしていただきました。これらの取り組みの成果として、教員や生徒が ICT 機器を使用する授業が増えてきました。写真は先月行われた1年生の校内実習での様子です。作業後にバーコードを読み取ることでパソコン内に出来高が計上されるようになっていきます。取り込まれたデータは即時にモニターに映し出されます。このことにより生徒は自分たちの進捗が視覚的に分かり、意欲の向上にもつながりました。

これらのことはほんの一例ですが、本校での ICT 機器の活用は進んできています。今後も研修を重ね、生徒にとってのより良い学びが実現できるよう努めてまいります。



## 『備えあれば憂いなし』全校 SNS 指導について

生活指導部主任 竹花 知将

スマートフォンやタブレット端末をはじめとする様々な携帯型情報端末の普及とともに、生徒の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）や無料アプリ、無料ゲーム等の利用が増加しています。その特性を理解しながら有効に活用している反面、ネット依存や SNS でのトラブル、ネット詐欺や不正請求などの被害が大きな社会問題となっております。

本校では、11月の安全指導日に SNS トラブルに対する未然防止のため、全校に指導を行いました。1, 2年生の生徒に対しては、スマートスクール端末を用いて東京都教育委員会の情報教育ポータルサイト『活用型情報モラル教材 GIGA ワークブックとうきょう』を活用し、「グループチャットに悪口が書き込まれた際の対応策」について理解を深めました。最初は生徒同士で対応について意見を共有し合い、「無視をする」、「グループから外す」、「直接よくないことを伝える」など積極的な発言が見られました。その後、生徒から出た意見のように対応をした際に起こり得る二次被害について全体でイメージを深めました。「確かに直接言ったら、翌日けんかになるかも」、「いきなりグループから外されたらさすがによくないかなあ」など生徒からその先に起こり得るトラブルについての意見や発言から学習の効果を感じる時間となりました。

今回、指導を行い強く実感したことは「継続して伝え続けること」です。今回の指導テーマだけでなく、SNS トラブルの理由は多岐に渡ります。引き続き継続的に系統だった SNS 指導を本校は展開して参ります。また、保護者の方々の御理解と御協力が生徒の安全を守ります。何か心配な点や疑問などがありましたら気軽に御相談ください。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日がずれる場合があります。